

市民の生活がたいへんな今こそ

市民の税金は市民生活最優先に使うべきです

いまこそ

旭市はくらしの「防波堤」に

年金・介護・医療の負担増、さらには庶民大増税・・・日本共産党がお願いしたアンケートには「収入が減っているのに国民健康保険税などが高すぎる、まるで税金を払うために働いているようだ」など、みなさんの切実な声が寄せられています。市民の生活がこんなに苦しいときだからこそ、市民の税金は市民生活最優先に使うべきではないでしょうか。

ゴミ処理は

市町村の本業です

ゴミ処理は国の補助金も出る、法律で決められた市町村の仕事。特別のサービスではありません。市民のための仕事に市民の税金を使うのは当然です。ゴミ処理手数料の徴収は、まさに税金の二重取り。しかも旧1市3町のゴミ処理組合では、大幅に経費を上乗せしたため、近隣市に比べてたいへんな負担となっています。

ゴミ袋が高いので、ゴミを道へすてたり、ゴミを燃やす人が多いと思います。
(アンケートの声)

市長に直接

署名を届けました

日本共産党の高田のり子は、みなさんの署名第一次分一〇〇〇筆を、十一月十六日、直接市長に届け、市長も「負担を増やしたくないのは同じ」と答えました。



下げられます

市も「検討します」

合併で引き下げが容易になりました

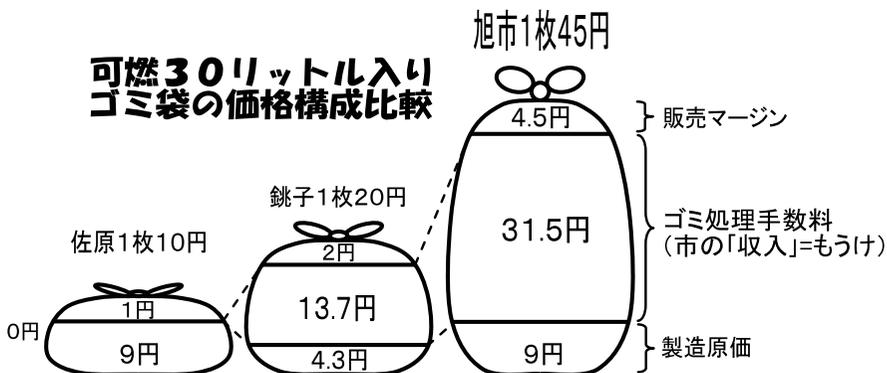
合併でゴミ処理は新旭市直営に。11月の市議会でも、日本共産党議員の引き下げ要請に対し、市当局も「検討します」と答えました。ゴミ処理手数料をなくすには、新市の予算の、たった0.3%で出来ます。ぜひ引き下げを実現しましょう。

署名にご協力をお願いします

ゴミ袋代の引き下げに全力でがんばります



旭市福祉・環境部長
高田のり子



ゴミ袋の値下げを求める陳情

一、高すぎるゴミ袋の値下げを求めます

お名前	おとじろ	お電話
旭市		

旭市長
伊藤 忠良様

ご連絡くだされば、いただきに伺います。
0479-50-1505